



2022年3月期 決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード : 6545>

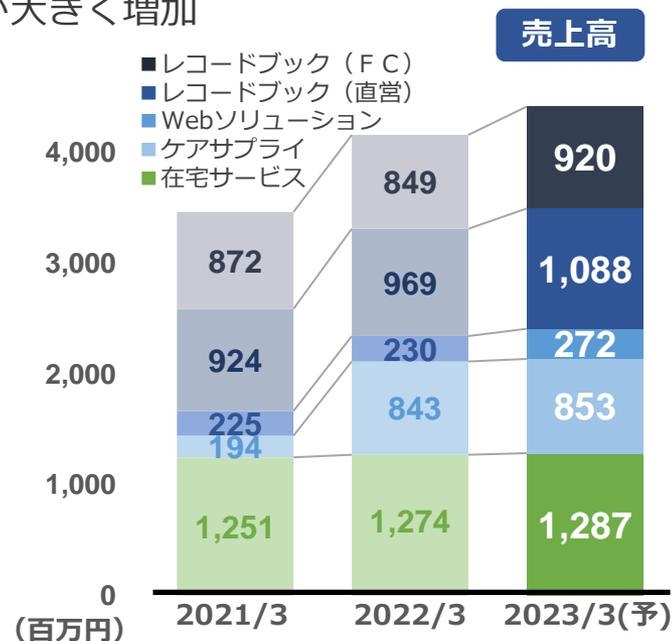


2022年3月期 通期業績

- ✓ レコードブック事業は、前期比で総店舗数が増加、利用控えの影響が軽微になり売上高は増加。一方、通常の運営体制に戻したこと等により営業利益はやや減少
- ✓ 利用者数は、徹底した感染拡大防止策や、高齢者の運動習慣の重要性への理解が進んだ結果、感染拡大の波による影響を受けながらも概ね回復基調で推移
- ✓ Webソリューション事業は、営業制限を受けた前期比で売上利益ともにやや増加
- ✓ ケアサプライ事業は、株式会社フルケアの連結に伴い売上高が大きく増加

2023年3月期 通期業績見通し

- ✓ 翌期の見通しは、感染拡大の波を考慮せず利用者数等の増減には影響を受けない前提のもとに算出
- ✓ レコードブック事業は、フランチャイズの既存加盟店の増店施策強化により出店再加速。既存店利用者も緩やかに増加
- ✓ 当期比で、売上高6.1%増、営業利益102.4%増、経常利益8.2%増、親会社株主に帰属する当期純利益9.4%増を見込む



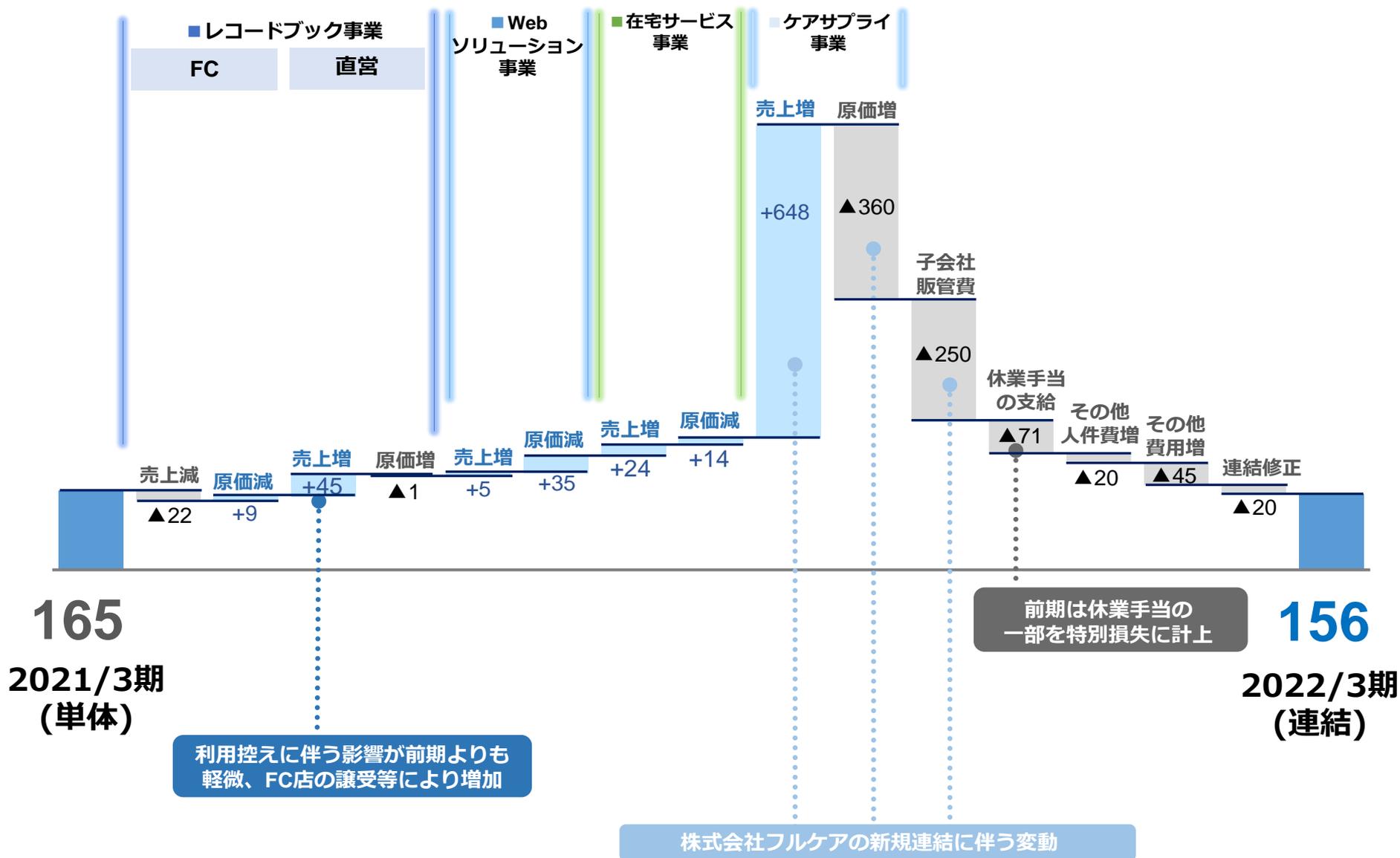
※ 2022年3月期期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用。
本資料において、2021年3月期以前の数値は適用前の開示済み数値を記載

2022年3月期 通期業績

単位：百万円 ()内は利益率	2021/3期 通期実績 (単体)	2022/3期 通期実績 (連結)	(参考) 増減率
売上高	3,468	4,168	+20.2% レコードブック+22、Web+4、ケアサプライ+648（フルケア社）、在宅サービス+23
営業利益	165 (4.8%)	156 (3.7%)	▲5.6% レコードブック▲41、Web+9、ケアサプライ+18、在宅サービス+4、本社▲0
経常利益	249 (7.2%)	289 (6.9%)	+15.9% 【営業外収益の増加理由】 経費助成金等収入+20、事業譲渡益（レコードブックFCへ譲渡等）+32
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	150 (4.3%)	186 (4.5%)	+24.1% 【特別損失の減少理由】 経費助成金に伴う固定資産圧縮損+14、減損損失+8
ROE (%) ※※	16.1	15.0	
EPS (円)	27	34	

※ 2022/3期から連結決算を開始したため、2021/3期は当期純利益

※※ 2022/3のROEは、連結初年度のため期末自己資本に基づき算定



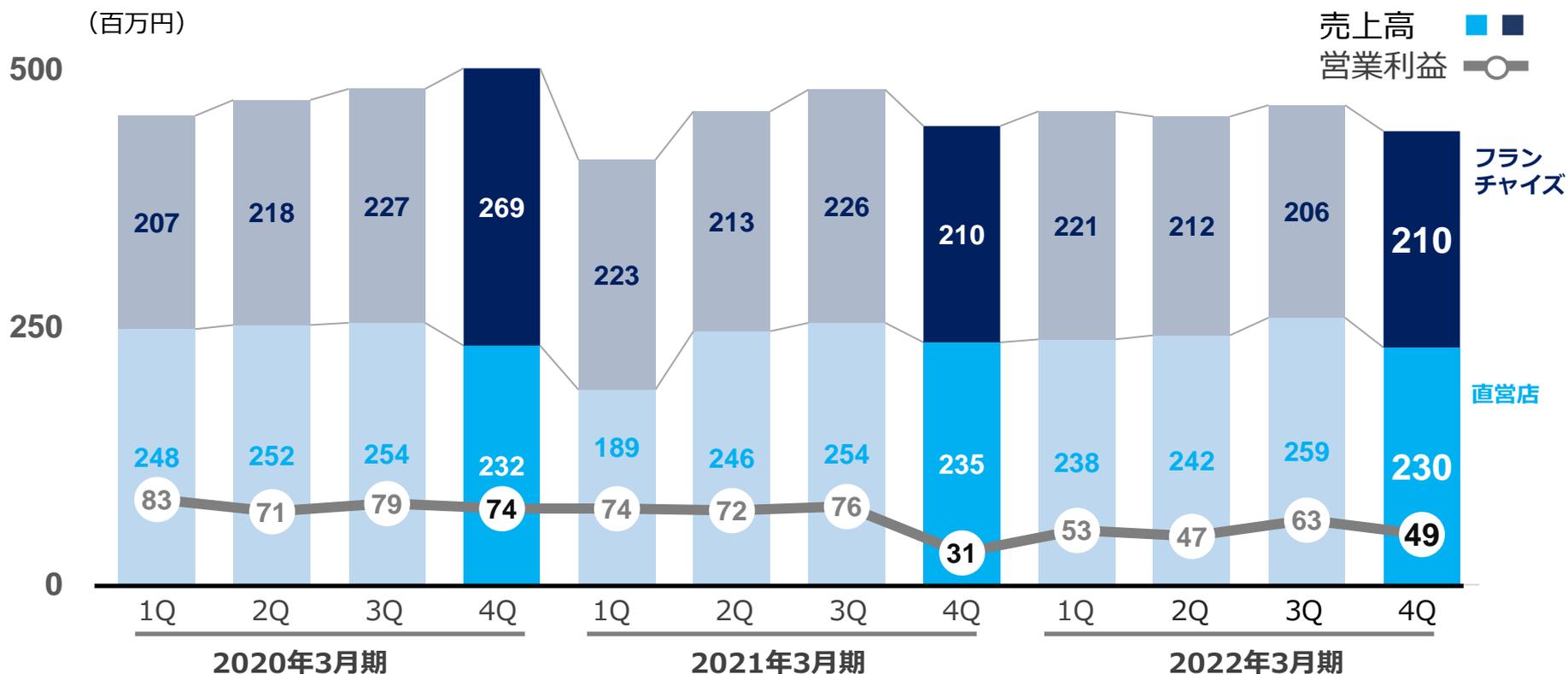
2022年3月期 セグメント別業績

(単位：百万円)	2021/3期 通期実績 (単体)			2022/3期 通期実績 (連結)			(参考) 増減額※	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	2,217	63.9%	351	2,893	69.4%	338	+675	▲13
レコードブック	1,796	51.8%	253	1,819	43.7%	212	+22	▲41
直営店	924	26.7%	52	969	23.3%	52	+44	+0
FC店	872	25.1%	200	849	20.4%	159	▲22	▲41
Webソリューション	225	6.5%	40	230	5.5%	49	+4	+9
シルバーマーケティング	102	3.0%		86	2.1%		▲15	
仕事と介護の両立支援	121	3.4%		133	3.2%		+12	
メディカル	1	0.1%		10	0.2%		+8	
ケアサプライ	194	5.6%	58	843	20.2%	76	+648	+18
■在宅サービス事業	1,251	36.1%	373	1,274	30.6%	377	+23	+4
通所介護	441	12.7%	125	445	10.7%	123	+4	▲1
訪問介護	504	14.6%	178	508	12.2%	182	+3	+3
居宅介護支援	305	8.8%	68	320	7.7%	71	+14	+2
調整額	—	—	▲559	—	—	▲559	—	▲0
合計	3,468	100%	165	4,168	100%	156	+699	▲9

※ 2022/3期から連結決算を開始したため、比較有用性の観点から2021/3期の個別業績との増減額を表示

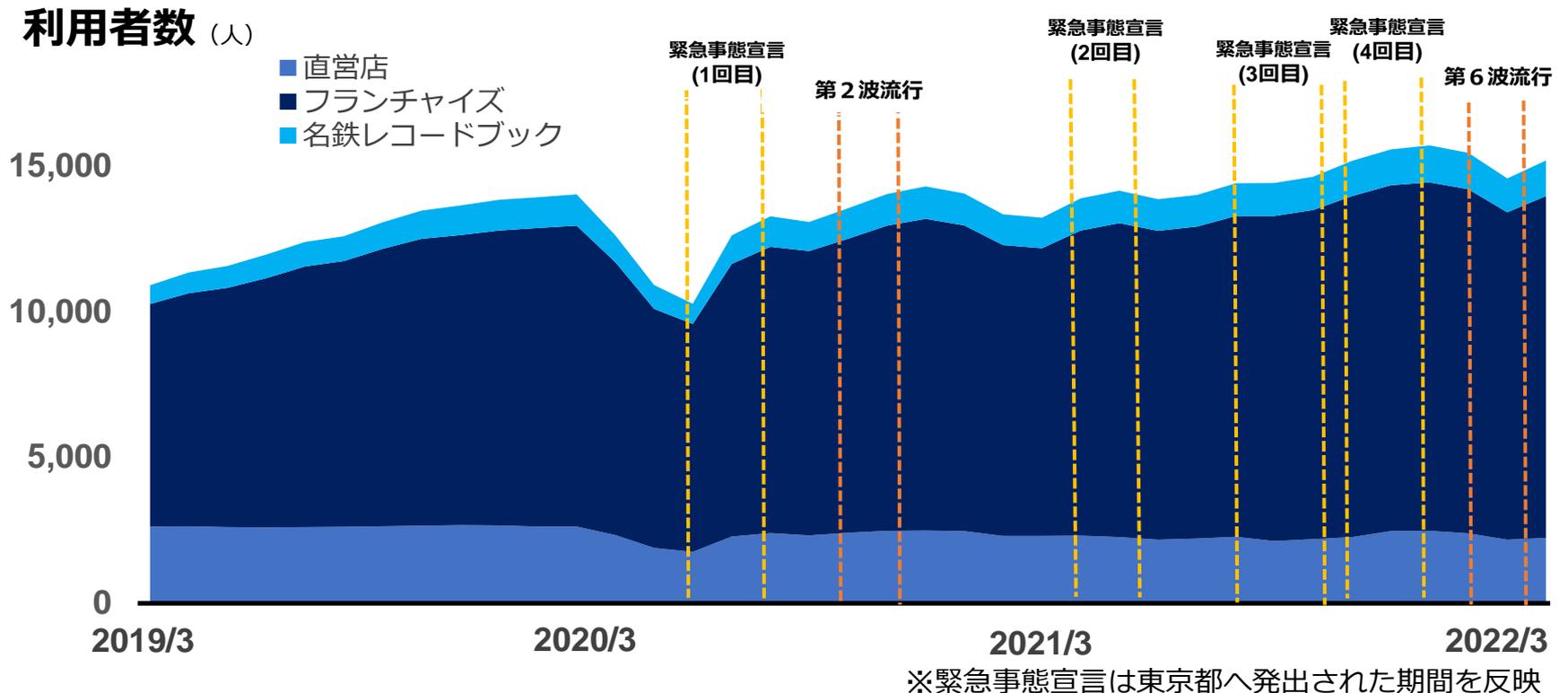
売上高 1,819百万円（前期比+1.2%）

営業利益 212百万円（同▲16.2%）



■ 総店舗数の増加や、利用控えの影響が軽微となったことにより売上高は増加

- ✓ 第4四半期は新型コロナ変異株感染拡大の影響を受け、売上高はやや減少
- ✓ 年間を通じて、当期は利用者から店舗の徹底した感染拡大防止策が評価され、利用控えによる売上の落ち込み幅は軽微に留まり、直営店の営業利益は前期比で増加
- ✓ FCは新規開設数減少等の影響を受け、売上高・利益とも前期比でやや減少



■ 店舗数の増加等により2021年12月の利用者数は過去最高に

- ✓ 第4四半期は新型コロナ変異株感染拡大の影響を受けてやや減少。
期末から4月以降にかけて再び回復傾向に
- ✓ 年間を通して、高齢者の運動習慣の重要性への理解が進んだ結果、
感染拡大の波による影響を受けながらも利用者数は概ね回復基調で推移

店舗数（店）

全国 211 店舗



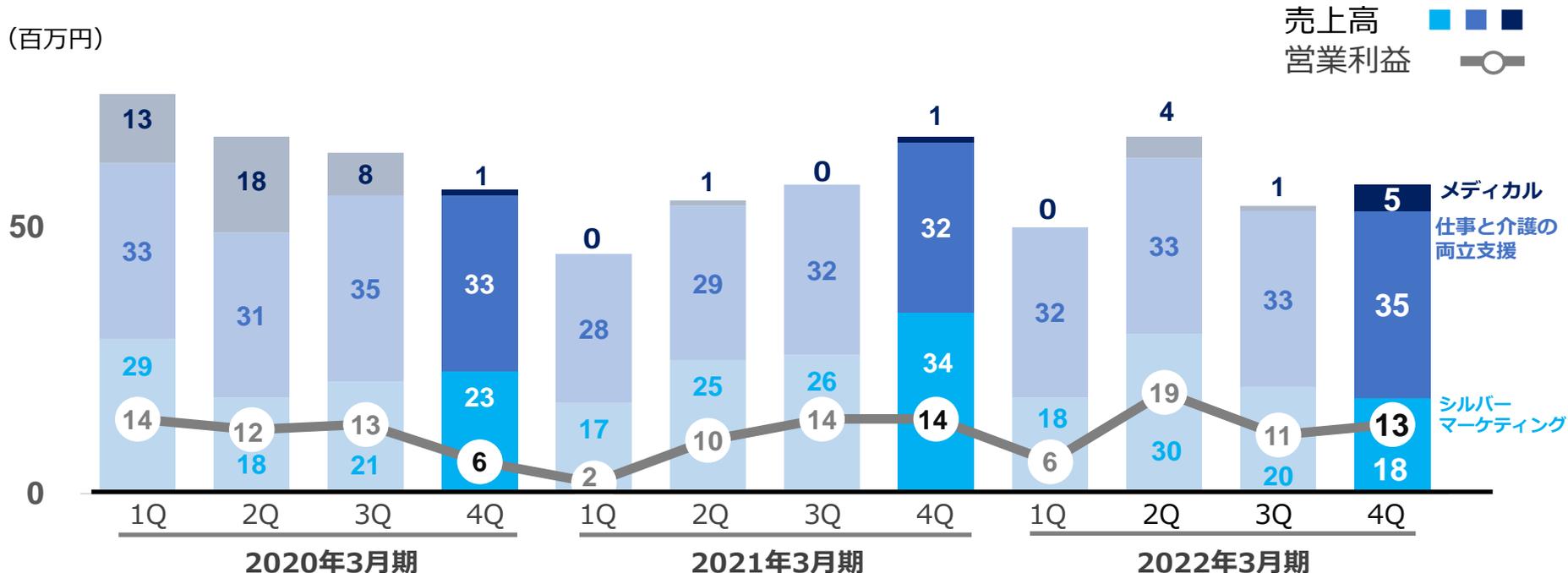
	2018/3期				2019/3期				2020/3期				2021/3期				2022/3期			
新規	10	9	7	21	10	13	19	13	13	8	9	8	9	3	4	2	4	3	3	0
閉店	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0
店舗計	66	75	82	103	113	126	144	157	170	176	183	190	195	198	201	202	206	208	211	211
FC化	1	0	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1
直営化	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	0

■ コロナ禍においても融資環境の改善により一定の新規出店を継続

- ✓ 当期の新規出店数は10店舗。2022年4月には新たに5店舗が開業済。
コロナ禍前に契約し開業準備を進めていた店舗がオープンした前期と比べやや減少
- ✓ 既存加盟店の業績向上施策の強化を進めることで、当期より新規のFC加盟による出店から既存店オーナーによる増店にシフト

売上高 230百万円（前期比+2.2%）

営業利益 49百万円（同+23.3%）



■ 営業制限の影響を受けた前期と比較して売上高、利益ともに増加

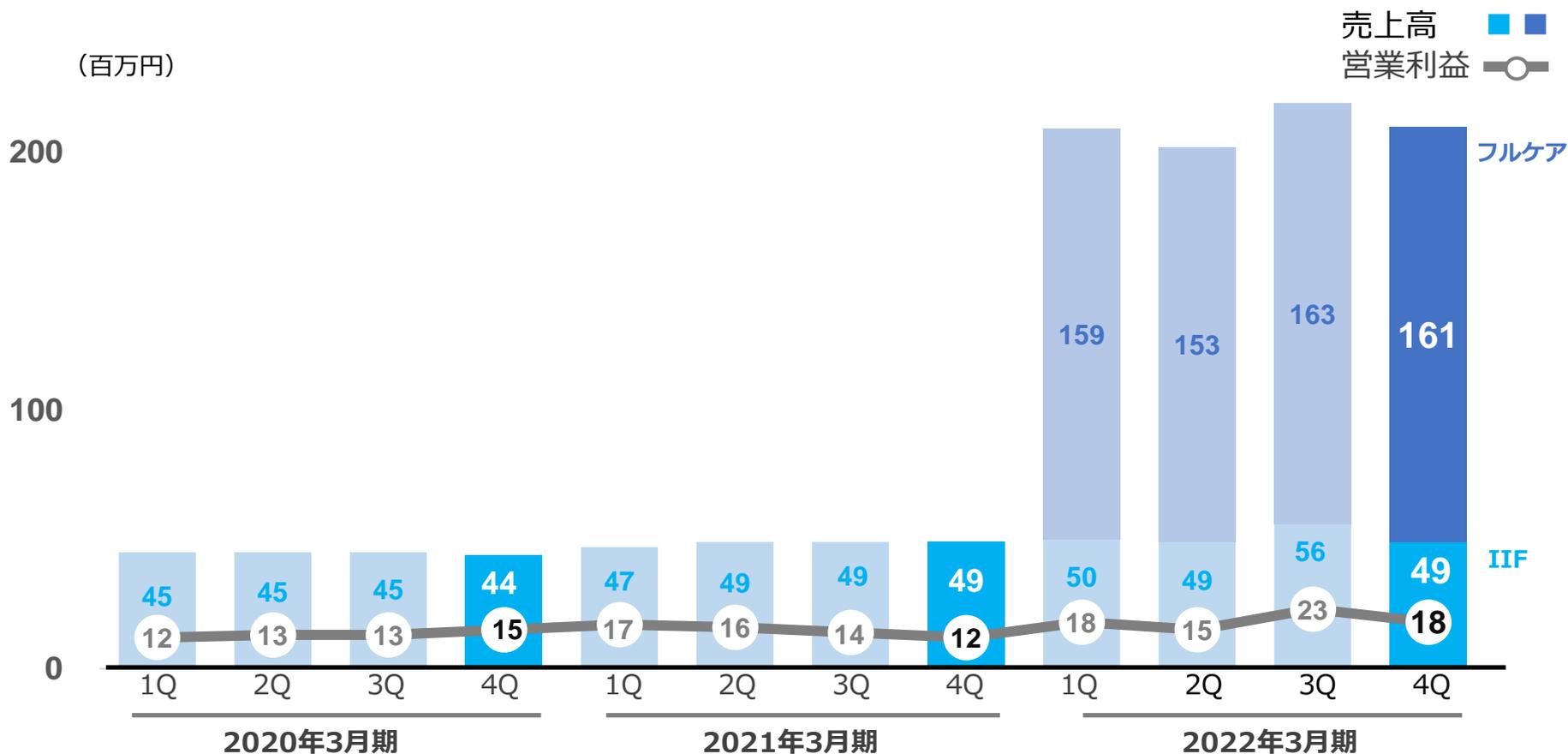
- ✓ 仕事と介護の両立支援に関しては、わかるかいごbizの新規契約企業が着実に増加

当期のサービス開始企業 (株)ロッテ、(株)日立アカデミー、帝人(株)、兼松(株)、等

- ✓ Webソリューション事業の基盤であるケアマネジメントオンラインのケアマネジャー会員数及びWAU増加施策を継続実施
- ✓ 2022年4月より、(株)三井住友銀行の「SMBCエルダープログラム」ご契約者様向けのサービスとして「介護コンシェルジュ」の提供を開始

売上高 843百万円（前期比+333.0%）

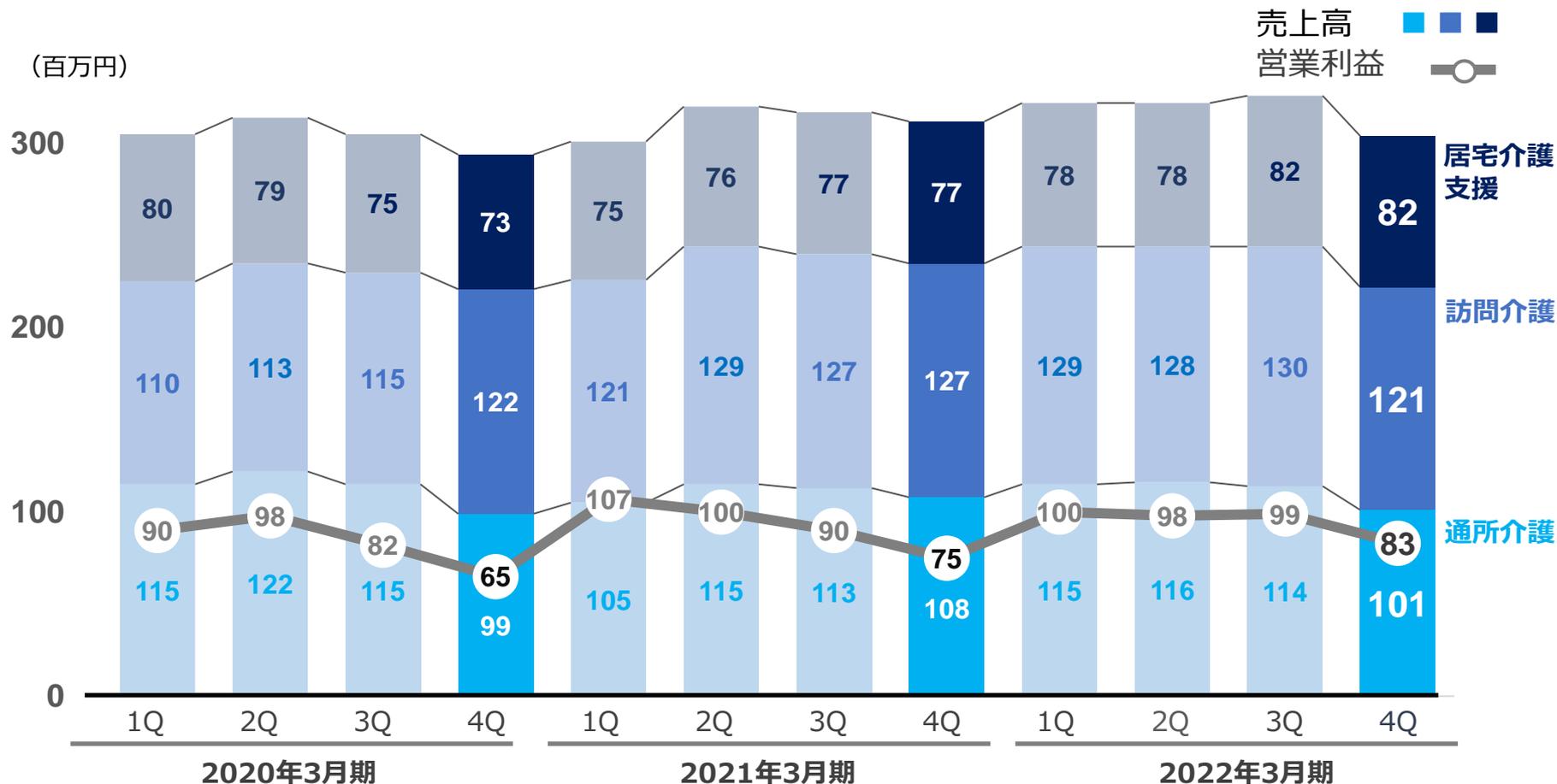
営業利益 76百万円（同+31.3%）



株式会社フルケアの株式取得によりケアサプライ事業を強化

- ✓ 当期首からの子会社化による新規連結に伴い、売上高が大幅に増加
- ✓ フルケアの業務改善や営業ノウハウの共有などを推し進め、利益面でも貢献へ

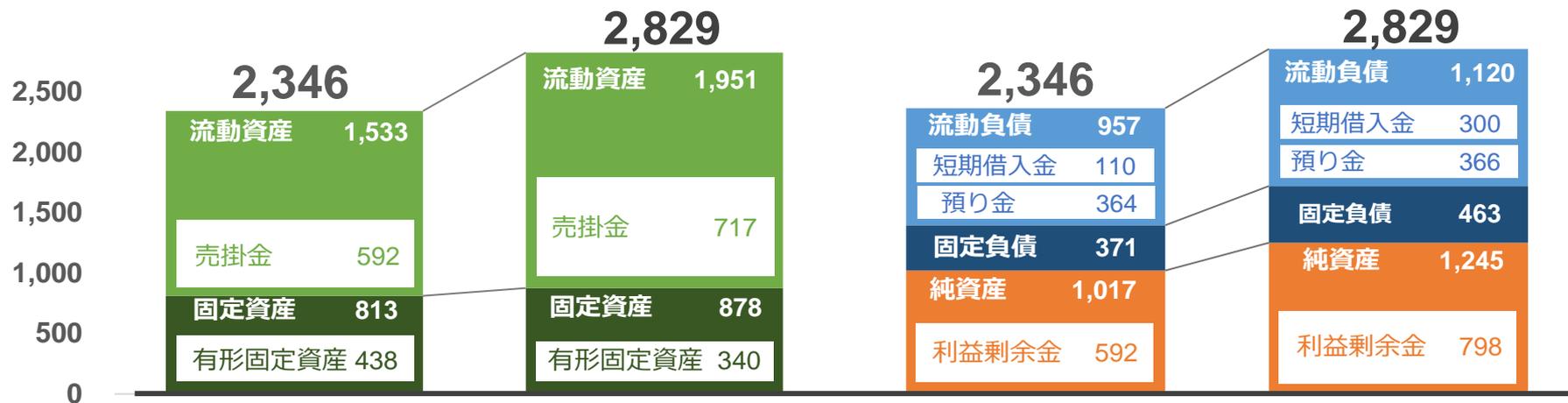
売上高 1,274百万円（前期比+1.9%） 営業利益 377百万円（同+1.2%）



■ 長引くコロナ禍においても安定収益を継続、前年比で売上高、利益ともに増加

- ✓ 第4四半期は通所介護事業を中心に、新型コロナウイルス変異株感染拡大の影響を受け稼働率がやや低下したものの、期末から4月以降にかけて緩やかに回復傾向

2022年3月期 貸借対照表



(単位：百万円)

2021/3期

2022/3期

2021/3期

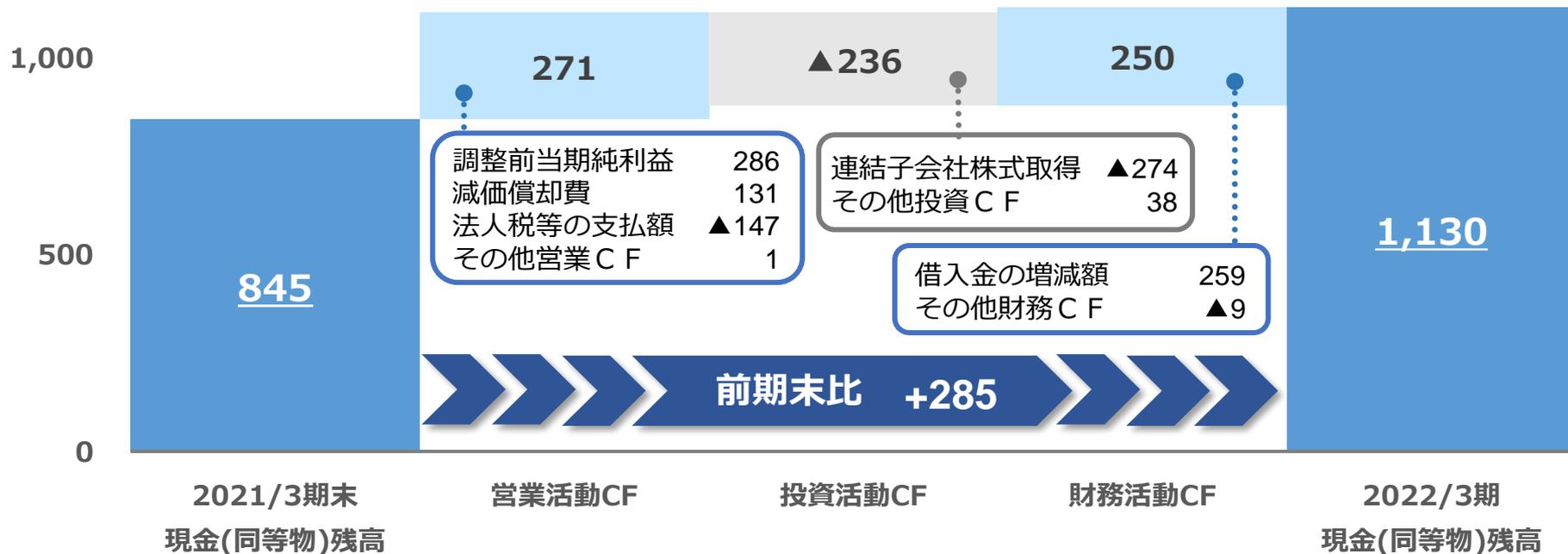
2022/3期

	2021/3期	2022/3期	増減額
流動資産	1,533	1,951	+418
現金・預金	845	1,130	+285 ①
売掛金	592	717	+125 ②
その他	96	103	+7
固定資産	813	878	+65
有形固定資産	438	340	▲98
無形固定資産	37	240	+203 ③
投資その他資産	337	297	▲40
資産合計	2,346	2,829	+483

	2021/3期	2022/3期	増減額
流動負債	957	1,120	+163
短期借入金	110	300	+190 ①
預り金	364	366	+2
その他	483	453	▲30
固定負債	371	463	+92
長期借入金	261	343	+82
その他	110	119	+9
純資産合計	1,017	1,245	+228
資本金	252	252	—
資本剰余金	237	237	—
利益剰余金	592	798	+206
自己株式	▲64	▲42	+22
負債純資産合計	2,346	2,829	+483

- ① 手元資金の調整により増加
- ② 株式会社フルケアを連結の範囲に含めたことにより増加
- ③ 2021/4のフルケア株式取得に伴うのれんの増加

(単位：百万円)



	2021/3期(単体)	2022/3期(連結)	前期比 (増減額)
営業活動C F	361	271	▲90
投資活動C F	▲104	▲236	▲132
財務活動C F	▲342	250	+592
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	▲84	285	+370
現金及び現金同等物の期首残高	930	845	▲84
現金及び現金同等物の期末残高	845	1,130	+285

2023年3月期 通期 業績見通し

レコードブックにおいて、フランチャイズ既存加盟店の増店施策強化により
新規出店を再加速。既存店の利用者も緩やかに増加を見込み、増収増益の見通し

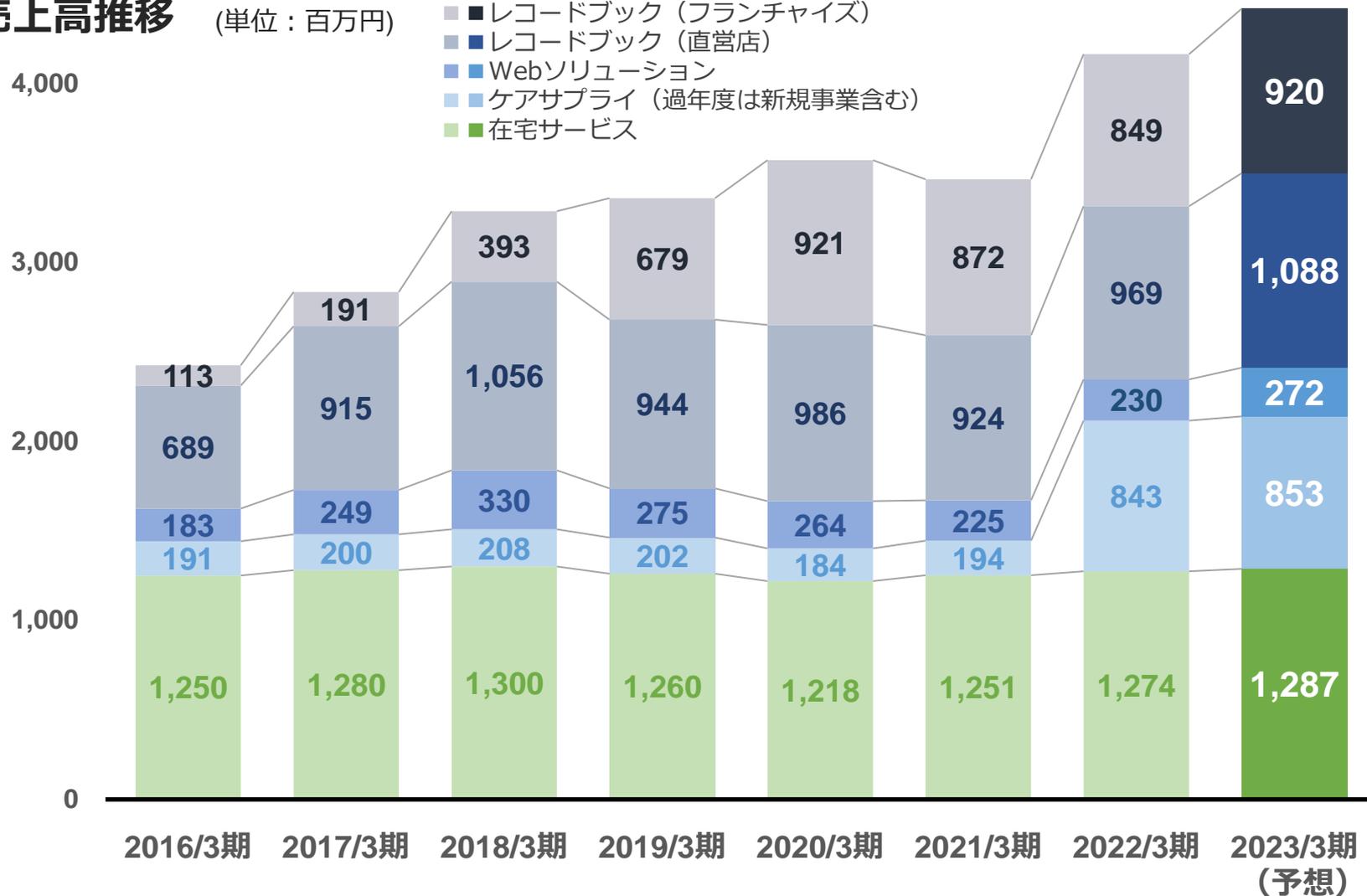
単位：百万円 ()内は利益率	2022/3期 通期実績	2023/3期 通期予想	前期比 増減率	
売上高	4,168	4,421	+6.1%	レコードブック+189、Web+41、 ケアサプライ+9、在宅サービス+13
営業利益	156 (3.7%)	315 (7.1%)	+102.4%	レコードブック+159、Web+39、 ケアサプライ+21、在宅サービス▲32、 本社▲28
経常利益	289 (6.9%)	313 (7.1%)	+8.2%	【営業外収益の減少理由】 助成金収入（雇用調整助成金、経費助成 金等）▲109
親会社株主に帰属する 当期純利益	186 (4.5%)	203 (4.6%)	+9.4%	
R O E (%)	15.0	15.1		
E P S (円)	34	37		

翌期見通しは感染拡大の波を考慮せず、利用者数等の増減に影響を受けない前提のもと算出

売上高推移

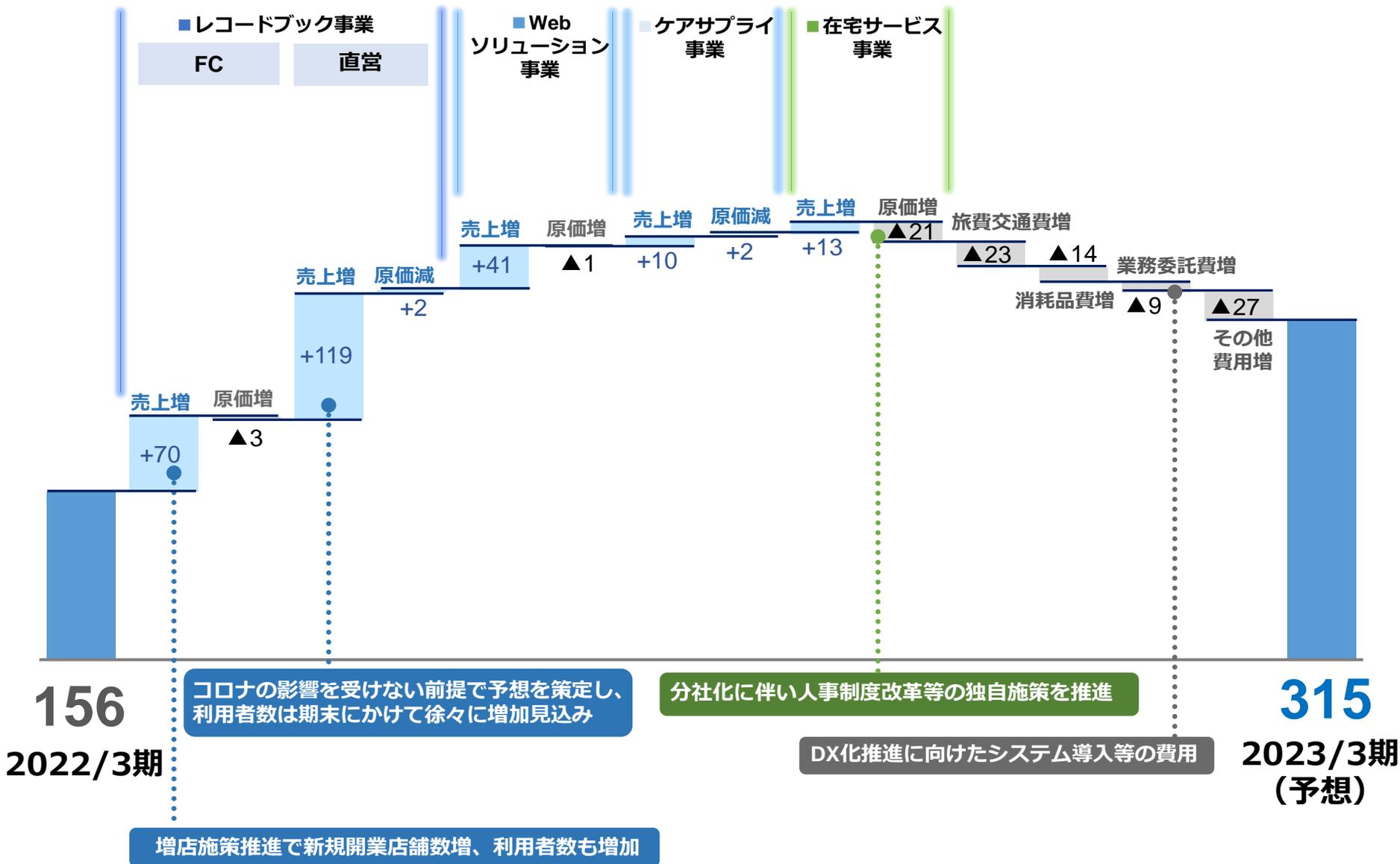
(単位：百万円)

- レコードブック（フランチャイズ）
- レコードブック（直営店）
- Webソリューション
- ケアサプライ（過年度は新規事業含む）
- 在宅サービス



営業利益見通し増減分析

単位：百万円



2023年3月期 セグメント別業績見通し

(単位：百万円)	2022/3期			2023/3期 (予想)			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	2,893	69.4%	338	3,133	70.9%	559	+240	+220
レコードブック	1,819	43.7%	212	2,008	45.4%	369	+189	+157
直営店	969	23.3%	52	1,088	24.6%	153	+118	+101
FC店	849	20.4%	159	920	20.8%	215	+70	+55
Webソリューション	230	5.5%	49	272	6.2%	89	+41	+39
シルバーマーケティング	86	2.1%		110	2.5%		+24	
仕事と介護の両立支援	133	3.2%		134	3.1%		+1	
メディカル	10	0.2%		26	0.6%		+15	
ケアサプライ	843	20.2%	76	853	19.3%	100	+9	+24
■在宅サービス事業	1,274	30.6%	377	1,287	29.1%	345	+13	▲32
通所介護	445	10.7%	123	448	10.1%	115	+2	▲8
訪問介護	508	12.2%	182	519	11.8%	169	+10	▲12
居宅介護支援	320	7.7%	71	320	7.2%	60	+0	▲11
調整額	—	—	▲559	—	—	▲588	—	▲28
合計	4,168	100%	156	4,421	100%	315	+253	+159

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email: ir@iif.jp